

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	地域高規格道路 <small>あいつじゆうかんみなみ</small> 会津縦貫南道路 一般国道121号 <small>しもごうたじま</small> 下郷田島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	福島県
起終点	自：福島県南会津郡下郷町大字塩生 <small>みなみあいつ しもごう しおのう</small> 至：福島県南会津郡南会津町田島 <small>みなみあいつ みなみあいつ たじま</small>			延長	11.1km
事業概要					
<p>会津縦貫南道路は、県土の骨格となる6本の連携軸の一つである会津軸を担う地域高規格道路として高速交通ネットワークを形成するものであり、下郷田島バイパスは、会津縦貫南道路の一部を形成し、下郷町大字塩生～南会津町田島までの延長約11.1kmを整備するものである。</p>					
H27年度事業化	都市計画決定なし	H30年度用地着手	H30年度工事着手		
全体事業費	約215億円	事業進捗率	約8%	供用済延長	— km
計画交通量	6,600～7,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 令和元年	
	(事業全体) 1.3	(残事業)/(事業全体) 181/201億円 事業費：160.2/179.8億円 維持管理費：21.1/21.1億円	(残事業)/(事業全体) 265/265億円 走行時間短縮便益：212.3/212.3億円 走行経費減少便益：42.1/42.1億円 交通事故減少便益：10.8/10.8億円		
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.5(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.3～1.6(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4(事業費±10%) 事業費：B/C=1.4～1.6(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3～1.4(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.5～1.5(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①地域防災の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道に危険箇所を回避し、災害に強い高規格道路網を構築 特殊通行規制区間(落石崩壊) 【現況】4.3km⇒【整備後】0km <p>②物流・観光の活性の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速交通ネットワークが強化され会津地域のみならず、山形や北関東への物流が活性化し、観光地として相互発展に寄与 <p>③地域医療の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南会津地域の、第3次救急医療施設60分圏域人口カバー率が30%拡大 【現況】21%⇒【整備後】51% 					
関係する地方公共団体等の意見					
地元商工会や会津縦貫道整備促進期成同盟会等が早期完成を要望。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
平成31年3月に国道289号南倉沢バイパスが供用。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
事業進捗率約8%（うち用地進捗率約10%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期完成を目指し、用地買収、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
他事業残土を流用しコスト縮減に務める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

